

## 緑のまちづくり計画 P68

## 5. 計画の目標

評価指標		策定時 (2017年)	現状 (2021年)	目標 (2028年)	摘要	
全体 指標	● 「公園・緑地の整備状況」に対する満足度	42.10%	—	50%	「平成29年度金沢市都市計画マスタープラン」策定に伴うアンケート調査のため、次回改訂時（R9予定）に合わせて実施予定。	
	● 「自然・緑の豊かさ」に対する満足度	48.00%	—	50%		
	● 定点観測による緑の重層性の評価 ・本市の特徴である「地形の緑」「歴史文化の緑」「都市の緑」が調和して重層性をなしている主要地点を設定し、それぞれの地点からみた“緑の質”が良好に保全されているか、向上しているかどうかを検証していきます。（設定から概ね5年後の評価）				維持向上	現在の重層性ある本市の豊かな緑を、それぞれに維持・向上させていくことで、評価に繋げていく。 「地形の緑」・・・卯辰山公園における竹林伐採、モミジ植栽 「歴史文化の緑」・・・保存樹、保存樹林の指定、適切な管理 「都市の緑」・・・街路樹のリニューアル等
	（関連）屋上・壁面緑化助成活用件数	平均：2件/年 (2000～2017年)	平均：0.6件/年 (2018～2021年)		増加	2009年度に対象区域を中心市街地に限定したため、利用件数は減少傾向にある。今年度周知方法の見直しを行ったところであり、今後は制度改正も視野に入れ、件数の増加を図っていく。
継 承	● 地域制緑地及び施設緑地の緑化面積が維持され、豊かな緑が維持されています。	24,512 ha (2018年)	— (2021年)		維持	施設緑地に関しては、西部緑道等の整備により面積は微増傾向にある。 地域制緑地面積においては、「都市計画マスタープラン」策定における基礎調査を一部参考値としているため、次回改訂時（R9予定）に合わせて実施予定。
	（関連）施設緑地（都市公園、小公園等、未告示公園）面積	623 ha (2018年)	624 ha (2021年)			
	（関連）地域制緑地面積	23,889 ha (2018年)	— (2021年)			
	● 「保存樹・樹林ガイドマップ」が作成され、保存樹・樹林を巡るツアー・見学会が開催されるなど、歴史文化の緑に対する認知度を高める取組が行われています。					「緑と花の会」活動員の協力を得ながら、保存樹・保存樹林の現状調査を実施中であり、適地を検討中である。
活 用	● 公園・緑地における地域行事等が増え、地域コミュニティ活性化に寄与する公園の利活用が進んでいます。				件数増加&行為 (利用目的)項目数の増加	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年以後、団体の使用は大きく落ち込んでいる。しかしコロナ禍において、緑の重要性は再認識されており、家族・個人単位など、今まで利用していなかった方が公園を利用するケースも見られる。
	（関連）公園内行為使用申請件数	1,135件	R1:1,173件 R2:698件 R3:700件(見込)			
	（関連）公園内行為使用申請における行為項目数	22項目	22項目			
	● 緑化重点地区における「市民緑地」が認定され、公園を補完する身近な緑としての活用が進んでいます。					制度の創設に関しては条例改正の必要があるため、今後事業者等からの要請に応じて迅速に対応できるよう、他都市の状況も注視しながら、研究を進めている。
	● Park・PFI制度を活用した公園施設が整備され、公民連携による公園の新たな魅力創出と市民サービスの提供が行われています。					定期的に公園等の公共空間で店舗出店を行う社会実験を行うなど、公民連携によるまちなかの賑わい、魅力創出に取り組んでいる。Park・PFI制度の活用については、他都市の事例も参考としながら、今後研究を進めていく。

## 緑のまちづくり計画 P69

## 5. 計画の目標

評価指標	策定時 (2017年)	現状 (2021年)	目標 (2028年)	摘要
<p>●地域（校下・校区）が主体となった緑のマネジメント計画が策定され、市民ニーズを踏まえた公園のリニューアル、運営・管理が進んでいます。</p>				<p>「金沢市夢ある公園再生・活用計画」に基づき、現在再整備を進めている。</p> <p>R3・・・泉野地区4公園について、機能再編計画を策定 R4～・・・泉野地区、玉川公園の再整備</p>
（関連）計画策定地域数	—	—	2地域/年	
（関連）地域が主体となったリニューアル公園数	—	—	2公園/年	
<p>●公園愛護団体・公園等里親団体を対象とした意見交換・活動紹介による交流会が開催され、公園の効果的な運営・管理にむけて活性化しています。</p>	403団体	407団体	交流会の開催による公園の効果的な運営・管理	公園愛護団体数、公園里親団体数ともに微増傾向にある。また、団体が効果的な管理・運営ができるよう、令和3年度から団体への報奨金の額を見直すとともに、マニュアルの改訂を実施した。
（関連）公園愛護団体数	360団体	361団体		
（関連）公園等里親団体数	43団体	46団体		
<p>●公園の効果的な運営・管理を支援するための助成制度が見直し・創設され、地域に根ざした活用が進んでいます。</p>				将来にわたって持続可能な運営・管理を支援するため、令和3年度より公園愛護団体への報奨金の額を見直すとともに、マニュアルの改訂を実施した。
<p>●緑化美化指導員・推進員（緑美会）や緑と花の活動員（かなざわ緑と花の会）合同のボランティア研修会が開催され、緑と花のまちづくり活動の地域展開が進んでいます。</p>				指導員・推進員のスキルアップを目的とした研修会の開催を、各公民館に働きかけている。現在はコロナの影響もあり、大人数が一堂に会する研修会は実施できていないが、今後合同での研修会の開催を検討していく。
（関連）緑美会研修会	—	1～2回/年	合同研修会	
（関連）かなざわ緑と花の会研修会	1回/年	1回/年	1～2回/年	
<p>●様々な情報媒体を活用し、緑や花に関する魅力ある情報が発信され、活用されています。</p>				金沢市公式フェイスブック、LINEなどのSNS等を活用し、積極的に情報発信を行っている。
<p>●多様な主体が関わる「地域別公園等運営管理協議会（仮称）」が発足し、公園内で新たなアクティビティ（活動）が展開されています。</p>				「金沢市夢ある公園再生・活用計画」に基づき、泉野地区において、地元町会が主体となって公園の運営に関する課題やルール共有を図った。今後は引き続き地元と連携し、公園の再整備に併せて協議会や公園愛護団体等の設置を視野に入れた協議を進めていく。
（関連）地域別公園等運営管理協議会（仮称）の発足	—	—	2団体/年	